

平成24・25年度寒川町社会教育委員会議調査研究
「社会教育関係団体の育成について」報告書

平成25年10月

＜はじめに＞

近年、社会情勢が変化する中で、生涯学習社会の進展により、町内でも多様な公民館サークルやNPO法人の発足や文化団体、スポーツ団体などの社会教育関係団体の活動が活発に行われてきました。しかしながら、活動を行う上で様々な課題を抱え、中でも会員の高齢化、子ども、若者の参加が少ないことによる会員数の減少や、また役員のなり手不足のため運営が困難となること等、活動の先細りが深刻となっている団体が見受けられるようになりました。

また、平成23年に寒川町教育委員会で実施した「公民館建て替えに向けたアンケート調査」では町民1,000人を無作為抽出し、415件の回答がありました。集計結果からは、平成22年4月から23年10月までの約1年半の間に公民館を利用したことがある町民が30%、さらにこれまで一度も利用したことがない町民が49%となっており、地域での社会教育活動に町民がより一層参加をするための工夫が必要となっています。

平成24・25年度寒川町社会教育委員会議では、「社会教育関係団体の育成について」をテーマに町内の社会教育関係団体の活動推進、支援方策等の検討を行うため、実態調査として、主に町内の公民館、ボランティアセンターを利用している団体、寒川町社会教育関係団体補助金等交付団体、寒川町スポーツ関係団体補助金交付団体、町内NPO団体等にアンケート調査を行いました。回収率は団体・サークル73%（216団体）、連盟・協会が57%（26団体）となっており、回答から団体の活動状況や抱えている課題が見えてきました。

なお、このアンケートに回答し、団体情報紙への掲載を希望する団体については協働文化推進課が「寒川町生涯学習活動団体情報」としてパンフレットにまとめ、各公民館、図書館で配布をしました。

＜町内の社会教育関係団体が抱える課題について＞

今回のアンケート集計結果では、団体が活動する上での課題、悩みについて、68団体から自由記入がありましたが、主なものは活動場所の確保や施設の設備についての意見、会員減少、若い会員の不足、子ども会員の不足、役員のなり手不足、高齢化に伴う活動場所への移動方法などの課題があげられました。なお、とくに課題がないと記入した団体が13団体、無回答の団体が134団体あり、この合計147団体（68%）は活動上の課題はあげられませんでした。

行政からの支援希望については、活動場所の確保が最も多く、次いで行政による活動情報のPRとなっています。補助金の交付を希望する団体は21団体と回答数の約1割であり、交付希望理由はボランティア活動を行う活動費のために必要としていることや、設備の購入や維持管理などが高額となるために補助金の交付を必要とする意見がありましたが、そのうち約半数となる10団体は希望理由が無回答であり、補助金を必要とする具体的理由については不明でした。

また行政からの支援希望については無回答が58団体あり、とくに必要としていないとしている44団体とあわせて、回答した約半数の団体は行政からの支援を必要としておりませんでした。

生涯学習の概念は社会に広く浸透し、多数、多様な団体が活動上の課題もなく、行政からの支援もとくに必要としていない状況は町民が自主的、主体的となって活動ができているとも受け取れます。その反面、自己満足や他に関心を払わない考え方の肥大ととらえれば、学習成果を地域づくり、人材育成など地域社会に活かす循環型の活動に向かわない状況に陥り、将来活動の固定化や会員減少、高齢化の課題を生じ、活動自体の縮小や廃止など、将来の団体活動が継続困難な状況へとつながることも考えられます。

地域に貢献することで、人とのつながりが生まれ、支え合うことで生きがいを感じ、学びあい、教えあう相互学習等が活発に行われるよう、社会全体の教育力を向上させるために社会教育行政は環境を醸成をする役割を果たしていくことが必要となります。

社会教育委員会議ではアンケートで団体からあげられた課題で意見が多かったものを中心に、団体活動が活性化するための対応策やこれまで社会教育活動に参加していない人を呼び込む方策など社会教育行政や社会教育委員として支援できることについて検討しました。

＜活動が活性化するための対応策＞

①活動場所の確保

・インターネットでの会館利用予約など利用者の利便性を図る仕組みの導入

公民館の利用申請が現行の窓口での受付のみとなっていますが、インターネットでの予約ができるようになれば、これまで公民館の利用の少ない若い世代の団体は利用しやすくなります。

現在、導入に向けて検討中となっておりますが、既存の団体、とくに高齢者にとってはインターネット利用は難しい場合もあるため、そのような配慮をした上で、既存団体にも新規団体にも利便性を図る対応が必要となります。

・地域集会所等の活用

公民館では利用希望が時間帯により集中する部屋も一部ありますが、町内では地域集会所なども利用はできるため、活動場所が足りないという意見については解決可能な課題であると思われます。ただし、地域集会所やふれあいセンターなどの町内の公共施設の利用方法の認知度が低いため、団体が活動場所を選択できるよう、町内各施設の紹介、利用方法等をより一層PRをしていく必要があります。

・施設整備や設備充実の検討

舞踏練習用の鏡、ピアノ、ロッカーなど備品充実や音響設備のある部屋、和室の茶道用茶室への施設改善、新しい公民館建設などの要望については、町の財政が近年緊縮している状況下において、早期実現は困難であります。多少の修繕などで解決が可能なものから改善を検討していくことが必要です。

②指導者の確保、活動の質的向上

・人材登録制度の活用

協働文化推進課で実施している寒川町生涯学習人材登録制度「ステップ・アップ」を利用して、指導者を探したり、相談することができます。また、自分たちの活動についても登録をすることで、地域に活動を提供できる契機となります。

・他地域の活動情報の収集

町外の活動の情報を収集など、絶えず団体自身の努力によって活動の質的向上を意識することが必要です。

③役員のなり手不足の解消

・役員がやりがいを感じられる活動内容の見直し

前年踏襲型や自己満足型の活動は目的意識が薄れ、活動が停滞する一因となります。地域に貢献することや子ども達の育成に関わることなど、活動内容にやりがいや魅力を感じることができれば、役員になることの負担感よりも活動意欲の醸成やリーダー育成につながります。

・団体内での人材育成の意識付け

運営は一部の人にまかせるという意識ではなく、一緒に考えていくことが重要です。会員全体で活動に関わり、必要に応じて対外的なリーダー、役員を置くように考えることが団体内での人材育成やリーダーを選ぶことにつながります。また、現在の活動だけに目を向けるのではなく、常日頃より団体の将来のことを考えて、初心者や若い人の参加を呼びかけて、入会した人たちを団体は自ら育成していく必要があります。

・会員同士交流の充実

例えばPTAをとりあげると、いつの時代も役員のなり手がいないと言われています。以前は活発であった学級PTAなどの学級単位で行われていたPTA事業の減少は子ども達の育成と共に保護者自らが学習、交流することができていた機会を減らし、保護者同士の関係の希薄化につながります。時代に応じた団体運営や活動内容の見直しを行うことは必要ですが、学校やPTAという場をきっかけに、保護者同士がかかわり、つながっていくことは有効です。

・他団体との交流の充実

サークルの役員のなり手不足や活動上の課題については、他の団体と交流することで、課題を共有したり、解決の糸口が生まれることもあります。利用者の会で意見交換会や研修会など他団体と交流機会を設け、団体運営や人材育成を支援することも必要です。

④活動費の確保

・各種助成金活用の検討

活動を継続していくために、団体自身が活動費を集める努力、研究をすることも必要です。町の補助金だけではなく、地域コミュニティや青少年育成などを地域貢献に関わるテーマは公共や民間等の助成金を活用できる場合もあります。

・材料費等の自己負担への転換

活動費を効果的に運用していくためには、体験活動などで生じる材料費等をこれまで無料としていたものを参加者の自己負担とする見直し等も必要です。カルチャーセンターなどの民間学習機関では魅力ある質の高い内容には費用負担をしても参加者からのニーズがあり、活発な活動が行われていることは参考にできます。

⑤活動情報の発信

・町広報紙の活用

町の広報は町内の情報を最も効果的に町民に周知できる方法であり、とくに目を引くことのできる表紙の活用や、ページ増による掲載記事の充実については団体活動の情報発信に活用できるよう、広報主管課と記事掲載依頼課の連携が必要です。また、締め切り日の都合や文字数など紙面に掲載できない情報については、町ホームページで情報を補うことで町民に詳細な情報提供を行うことができます。

・ホームページの充実

団体情報はパンフレットだけでなく、町のホームページにも掲載した方が時間や場所を問わず、町内でどのような団体が活動しているか情報を入手することができ効果的だと思います。連絡先の個人情報などは掲載しなくても、参加や見学をしたい場合は各公民館などに問い合わせをして、活動日などを教えることで対応は可能となります。

・NPO団体や民間団体の活動情報の把握

町はNPOなどの民間団体の情報も把握し、情報誌やホームページなどに掲載し、町民が幅広い活動情報を選べるように情報提供に努めることも必要です。

⑥新規会員の獲得に向けた活動

・入門講座、体験講座などの実施

常時参加者を募集をしていますが、個人がたった一人で団体へ問い合わせをして、加入することは気軽ではありません。かつては公民館講座をきっかけに発足されるサークルが多

かったことなどから、新しい活動を興す場合には行政が入門講座、体験講座などを開催し、サークル発足など継続活動へ移行できるよう調整し、団体育成をする役割が期待されます。

また、団体自身は新規加入を促す工夫やサークル内で初心者に対して参加しやすい配慮が重要となります。

⑦活動していない人を公民館や団体へ呼び込む

・「公民館」の存在や役割の積極的発信

これまで公民館を利用していない人や新しく町民になった人々にとって、町内の公民館の場所を知られていない状況もアンケート結果等から見受けられます。公民館前にわかりやすい看板の設置や地図の作成、またホームページにも公民館の役割、使用方法などより具体的な内容を掲載することが施設の存在認知や利用促進につながります。

・地域活動を知る機会となる事業のPR方法の充実

公民館まつりなど、当日参加が可能なイベントは地域住民が公民館へ足を運ぶきっかけとなります。PR方法として内容やタイムスケジュールなどイベントの詳細がわかるプログラムを事前配布したり、ホームページへ掲載するなど、これまで利用しない人を意識した啓発が必要です。

・地域活動に関心がある人の発掘や団体発足の支援

既存団体以外でも子ども達の育成や地域づくりなどの活動に関心のある人は潜在的に多いと思われますが、個人が優れたアイデアを持っていたとしても現状では掌握や実施は困難です。行政は事業の参加者からそのような意見が出せる機会を設けたり、新規団体が発足しやすくなるような支援をする必要があります。

・若い人の参加を促す事業の工夫

地域活動に若い人の参加を促進するために、団体や公民館事業等では若い世代に関心の高い内容や年代を限定して募集する等の参加しやすい工夫を考えられます。魅力あるものにはお金を払ってでも参加はあるものですが、「魅力あるもの」とは具体的にどのようなものであるか、時代のニーズをとらえた事業づくりが重要です。

＜活発な団体活動が町の魅力へ＞

寒川町の生涯学習のまちづくり推進計画となる「寒川 学びプラン」の将来目標は「ともに学び・ともに支え合う 自己実現と協働のまち・さむかわ」とあります。町民や団体が地域社会の中で生きがいを持って社会参加することが、地域での活動、成果発表を地域に還元し、自らが暮らす町のまちづくり活動に興味、関心が高められ、行政主導型から、住民参加による協働型のまちづくりへ移行する契機となります。町民同士が結び合うことで、地域活動が活性化し、そのことが町の特色や、町の魅力となっていくことを目指しています。

今回のアンケートの集計結果から、団体はおおむね自主的、主体的な活動が行われており、課題や悩みについては、団体の努力によって解決できることも多く見受けられました。社会教育行政は団体の課題解決の一助となるように、活動場所の情報提供、団体情報の発信、人材育成、社会貢献などやりがいを感じられる活動の促進、若い世代や社会教育に関わりのない人々に参加を意識した魅力ある内容の検討など、団体の活動がさらなる活性化へ向かうよう配慮、奨励をしながら、適切な指導、助言、支援が求められます。

平成24年度寒川町社会教育関係団体の活動調査アンケート集計結果

近年、社会情勢が変化する中で、公民館サークルや文化団体、スポーツ団体などの社会教育に関係する団体も様々な課題を抱えていると思われます。寒川町社会教育委員会議では、社会教育関係団体の活動推進について協議し、その支援のあり方等について検討するため、町内社会教育関係団体にアンケート調査を実施しました。

【社会教育関係団体とは】

法人である与否を問わず、公の支配に属しない団体で社会教育（学校の教育課程を除き、青少年や成人に対して行われる組織的教育）に関する事業を行うことを主たる目的とするもの。文化団体、スポーツ団体、PTA、公民館サークル、NPO団体、ボランティア団体などが含まれる。

1. アンケート調査配布団体と回答状況

今回のアンケート調査は、主に町内の公民館、ボランティアセンターを利用している団体、寒川町社会教育関係団体補助金等交付団体、寒川町スポーツ関係団体補助金交付団体、町内NPO団体等に依頼をしております。調査期間も短く、また町内で活動しているあらゆる社会教育関係団体を調査しているとはいえませんが、多くの団体より回答をいただき、活動状況や傾向をうかがうことができると考えられます。

○配布団体と回収数[調査期間：平成24年9月～平成24年11月末日]

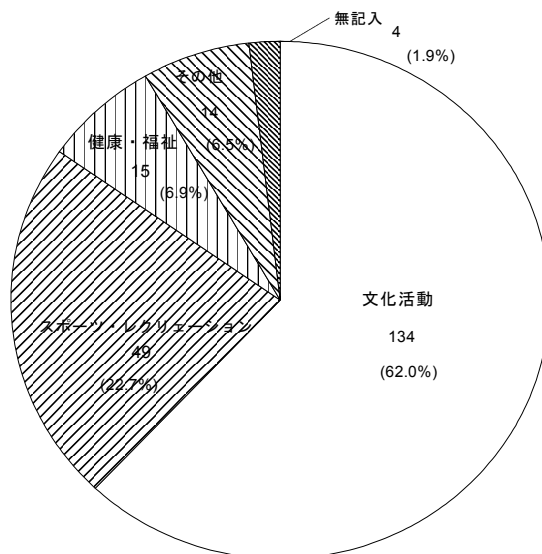
団体・サークル用 回収数：216団体 73%（配布数：293団体）

連盟・協会用 回収数：26団体 57%（配布数：45団体）

◆団体内訳（複数該当あり）

配布団体名	団体・サークル用		連盟協会用		備 考
	配布数	回収数	配布数	回収数	
公民館利用団体・町民センター	22	15		1	
公民館利用団体・寒川町公民館	26	21			
公民館利用団体・北部公民館	59	48			
公民館利用団体・南部公民館	71	38			
ボランティアセンター利用団体	15	11			
寒川町文化連盟					
寒川町PTA連絡協議会	30	78	23	11	
寒川町婦人会					
寒川町青少年指導員連絡協議会					
ジュニア・リーダーズクラブ					
青少年環境浄化推進協議会	38	5	1	0	
単位子ども会					
ボーイスカウト・ガールスカウト					
寒川町体育協会					
寒川町レクリエーション協会	27	14	21	14	
寒川総合スポーツクラブ					
町内NPO団体	7	3			
町内スポーツ団体		4		1	
その他（団体名無記入で回答）		4			

◆団体活動分野
団体・サークル用



文化活動	134
スポーツ・レクリエーション	49
健康・福祉	15
その他	14
無記入	4
	216

音楽	合唱・声楽	12	スポーツ・レクリエーション	剣道	5
	カラオケ	5		卓球	3
	ハーモニカ	3		陸上競技	3
	琴・大正琴	2		ソフトバレー	2
	オカリナ	1		サッカー	1
	ギター	1		バドミントン	1
	祭ばやし	7		バスケットボール	1
	民謡	7		ターゲット・ボードゴルフ	1
	詩吟	1		ペタンク	1
				グラウンドゴルフ	1
演劇・舞踊	日本舞踊・新舞踊	22	健康・福祉	ゲートボール	1
	人形劇	1		社交ダンス	6
文学・歴史	俳句	1		フラダンス	2
	短歌	2		フォークダンス	1
	古典文学学習	2		フラメンコ	1
	郷土史研究	1		リズム体操	2
美術・手工芸	油彩・水彩・水墨画	7		健康体操	11
	絵手紙	2		太極拳・ヨガ	3
	写真	1		エアロビック	2
	陶芸	2		スポーツ総合	1
	ちぎり絵・はり絵	5	その他	調理	3
	手芸・編み物・パッチワーク	7		ボランティア	12
	紙粘土細工	2	無記入	P T A	5
	鎌倉彫	1		子ども会	3
	トールペイント	1		子育て支援	1
	タイルモザイク	1		青少年育成	2
	七宝焼	1		婦人会	1
	折り紙	2		文化活動	1
茶道・華道・書道	茶道	7		懇談	1
	華道	9		無記入	4
	書道・ペン字	11			
園芸	菊花・さつき・盆栽	3			
囲碁・将棋・麻雀	囲碁・将棋・麻雀	3			
国際化	中国語	1			

2. 社会教育関係団体の活動調査アンケート（団体・サークル用）調査結果

（1）基本情報について

①回答団体数：216団体

公民館利用団体や文化連盟加盟団体などを中心に文化活動に関する団体から多く回答をいただきました。

②会員数

会員数は10人未満（35%）の団体が最も多く、次いで10人台（29%）、20人台（12%）、40人以上（12%）となっています。

20人未満が約63%と高い割合になっており、40人以上の団体は公民館サークル、文化連盟加盟団体などの文化団体が7、スポーツ団体が5、レクリエーション団体が4、PTAが4、ボランティア団体が2、子ども会、婦人会、ボーイスカウト、NPO団体が各1です。

◆会員数

10人未満	75	35%
10人台	63	29%
20人台	26	12%
30人台	11	5%
40人以上	26	12%
無回答	15	7%
計	216	

◆団体活動分野別

	10人未満	10人台	20人台	30人台	40人以上	無回答
文化活動(134)	63	38	13	4	7	9
スポーツ・レクリエーション(49)	11	16	6	6	9	1
健康・福祉(15)	1	7	5	0	2	0
その他(14)	0	2	2	1	8	1
無記入(4)	0	0	0	0	0	4
計	75	63	26	11	26	15

③活動頻度・活動日・活動時間帯

活動頻度については月2回（23%）、週1回（22%）、月1回（16%）が多くなっています。月1～2回の活動が約40%、毎週1回が約20%となっており、毎月定期的に活動する団体が大半をしめています。

活動日、活動時間帯については、平日、土日の午前、午後、夜間とも比較的均等な活動状況となっており、主に公民館サークルからの回答が多いため、会場の都合等により活動日、活動時間帯が分散され、定期的な活動をしていると思われます。

◆活動頻度

週1回	47	22%
週2回以上	17	8%
月1回	35	16%
月2回	49	23%
月3回	15	7%
月4回	1	0%
不定期	25	12%
無回答	27	12%
計	216	

◆活動日・活動時間帯

	平日	土日	どちらも	不定期	無回答	計	
午前	41	14	2	1	3	61	28%
午後	31	17	2	3	1	54	25%
夜間	25	9	2	2	4	42	19%
午前と午後	9	3		3		15	7%
午後と夜間	2					2	1%
午前と夜間			2			2	1%
不定期	1	1		17		19	9%
無回答	3	3		1	14	21	10%
計	112	47	8	27	22	216	

④主な活動場所

主な活動場所については、町内公民館を利用する団体が多くなっておりますが、各公民館を通じてアンケート調査を実施したため割合が多いと考えられます。書道、華道、舞踊などの少人数の文化団体は自宅、講師宅など、公共施設以外での活動も見受けられます。

◆主な活動場所（複数回答あり）

町民センター	22	※その他の内訳	町内小中学校	8	自宅・講師宅	15
南部公民館	42		町内保育園	3	民間施設	4
北部公民館	50	→	町内スポーツ公園等	8	講習等・依頼による	2
寒川町公民館	29		健康管理センター	3	町内	2
地域集会所	17		児童館	1	野外、旅行撮影会等	2
寒川総合体育館	7		老人保健施設	1	茅ヶ崎市・藤沢市	4
その他※	62		町内神社	3	無回答	6
無回答	14					

⑤会費、入会金、その他必要経費

入会金については無いと回答した団体が7割を占めており、また入会金ありの場合でも約半数は1000円以下となっています。入会金3000円程度の団体はおもにスポーツ団体となっています。

会費については月額で徴収している団体が約半数であり、月額1000円～2000円台が中心となっています。月額3000円を超える団体は10人未満の団体や、コーラス団体など指導者を必要とする団体に見受けられます。

その他の必要経費については75団体（34%）が徴収しており、内訳は1000円程度を材料費、ユニフォーム代、大会や発表会参加費にあてられています。

◆入会金の有無 ◆入会金の金額 ◆会費の有無と金額

有り	無し	無回答	計	100円	500円	1,000円	1,500円	2,000円	2,500円	3,000円	3,500円	7,000円	無回答	計	月額	年額	無し	無回答	計
40	158	18	216	1	3	15	1	6	2	5	4	0	3	40	11	10			21
															26	18			44
															32	14			46
															19	4			23
															9	2			11
															4	5			9
															2	5			7
															7	0			7
																	26	22	48
															110	58	26	22	216

◆その他の必要経費

有り	無し	無回答	計	材料代、本代等	年会費等	大会、発表会費等	ユニフォーム等	コピー代等諸経費	参加費等	親睦会費等	旅行費、交通費等	安全互助会保険料	会場使用料等	ガソリン代	通信費	料理講習会	例会費	必要に応じて	運営費の不足分	無回答
20			20	20	10	9	5	3	4	4	3	3	2	20	1	1	1	1	1	6
16			16																	
4			4																	
2			2																	
1			1																	
1			1																	
3			3																	
28			28																	
	95	46	141																	
75	95	46	216																	

⑥会員募集をしている対象

成人男女、またはどなたでもと初心者に向けて広く会員を募集がされています。

◆会員募集をしている対象（複数回答あり）

幼児	9	※その他の内容				
小学生	28					
中学生	15		保護者、教職員	3	年金受給者	1
高校生	13		小学生、保護者、先生	1	無回答	1
成人男性	45		全般	1		
成人女性	80		成人	1		
初心者	19		幼児年長	1		
経験者	21		女性	1		
どなたでも	90		一之宮在住	1		
その他※	13		→ 栄養士の有資格者	1		
無回答	18		少しハーモニカが吹ける方	1		

(2) 会員、活動にかかる経費について

①会員数の増減傾向

「やや減少している」が80団体（37%）が最も多く、次いで「増減はしていない」が65団体（30%）となっています。増減傾向については減少しているとの自己認識をしている団体が47%であり、増加している団体14%を大きく上回っています。平成20年度以降の会員増減数の実数についても、増加した団体が21%、減少した団体が41%と自己認識と同様の結果となっています。会員が減少した団体のうち、減少率が50%以上となる団体は8団体ありました。

◆会員数の増減傾向（自己認識）

			文化活動	スポーツ・レクリエーション	健康・福祉	その他	無記入
大きく増加している	2	1%	2	0	0	0	0
やや増加している	27	13%	13	8	3	3	0
大きく減少している	22	10%	14	4	1	2	1
やや減少している	80	37%	52	16	7	3	2
増減はしていない	65	30%	39	18	3	4	1
無回答	20	9%	14	3	1	2	0
計	216		134	49	15	14	4

◆平成20年度以降の会員増減数（実数）

	減少した団体				変化なし	増加した団体				判断不可
	11以上	10～6	5～3	2～1		1～2	3～5	6～10	11以上	
文化活動(134)	3	7	21	26	23	13	7	3	4	27
スポーツ・レクリエーション(49)	4	3	6	7	11	2	3	5	1	7
健康・福祉(15)	0	1	2	4	2	3	1	1	0	1
その他(14)	4	1	0	0	3	0	1	0	1	4
無記入(4)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
小計(216)	★11	12	29	37	39	18	12	9	☆6	43
合計(216)	89(41%)				39(18%)	45(21%)				43(20%)

【★会員が11人以上減少した団体…11団体】

文化活動 3（郷土史研究1・舞踊1・書道1）

スポーツ・レクリエーション 4（エアロビク1・フォークダンス1・ゲートボール1・リズム体操1）

その他 4（PTA1・婦人会1・子ども会1・青少年育成1）

【☆会員が11人以上増加した団体…6団体】

文化活動 4（折り紙1・将棋1・祭ばやし1・麻雀1）

スポーツ・レクリエーション 1（フラダンス1）

その他 1（子育て支援1）

②中心となっている年齢層

複数回答となっていますが、最も多いのが60歳代、次いで70歳代、50歳代となっています。60歳以上のシニア世代が半数以上を占めており、20～40歳代の団体が少ない状況です。

◆年齢層（複数回答あり）

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答
文化活動	12	0	4	6	15	88	45	2	10
スポーツ・レクリエーション	12	1	1	4	11	29	7	0	1
健康・福祉	0	0	1	3	4	7	3	0	2
その他	2	0	2	5	2	4	1	0	3
無記入	0	4	0	0	1	4	1	0	0
	26	5	8	18	33	132	57	2	16

③所属会員の性別

「大半が女性」と回答した団体が138団体（64%）となっており、「男女半々程度」41団体（19%）と「大半が男性」22団体（10%）を大きく上回っております。女性の地域での団体活動が積極的に行われていることが見受けられます。

◆所属会員の性別

大半が女性	138	64%
大半が男性	22	10%
男女半々程度	42	19%
無回答	14	7%
計	216	

④新規会員の募集

新規会員を募集している団体が7割を占めています。募集していない団体が50団体あり、その理由については、多忙のためや、会員増により活動日、活動場所の確保が困難になる等の理由が8団体（16%）、指導者の健康上の問題や、会員増によると指導対応が困難になるとしている理由が4団体（8%）、会員の高齢化や、適度な人数、私的に同好の者が集まっていると会員の都合による場合が3団体（6%）となっています。

また、特に募集はしていないが、現会員の紹介や口コミによる入会としている団体が2団体（4%）、募集しても集まらない、募集方法がわからないとしている団体が各1団体（各2%）、募集していない理由が無回答の団体が27団体（54%）あり、会員募集を行うための手段や方法がわからないため、募集を行っていない団体も多いことが考えられます。

◆新規会員の募集

	している	していない	無回答
文化活動	90	33	11
スポーツ・レクリエーション	39	10	0
健康・福祉	11	3	1
その他	6	4	4
無記入	4	0	0
	150	※50	16

※募集をしていない理由

文化活動	- 平成25年3月で終了予定のため - 多すぎると指導者が対応できない - 活動の曜日を増やせない - 現会員の紹介が多いため - 高齢により - 今後募集する予定 - 私的に同好の者が集まっている - 集会場なので、募集方法がわからない	- 指導者がいない - 指導者の健康上の問題 - 指導者の体調が不調のため - 多忙のため（2団体） - 特にしていないが、口コミで入会がある - 特になし - 無回答18団体
スポーツ・レクリエーション	10人くらいでよい - 会場の広さの都合上 - 用具、道具の都合上	- 人数が増えると場所の確保ができない - 募集しても集まらないから - 無回答4団体
健康・福祉	実習室の許容人数を考慮して	無回答2団体
その他	社宅内の小学生が対象のため	無回答3団体

⑤新規会員の募集方法

募集を行っている団体の最も多い募集方法は「会員による勧誘」が95団体あり、6割の団体が会員による勧誘を募集手段としています。また、募集をしているとしながらも「特に行っていない」43団体（15%）、無回答が55団体（19%）となっており、前項の募集を行っていない団体と同様に、会員募集をしたくても、手段や方法がわからないため、積極的な会員募集ができていないことが見受けられます。

◆新規会員を募集方法（複数回答あり）

	団体のチラシ、 ポスターの作成	初心者向け 教室の実施	会員による 勧誘	インターネット による団体の 情報提供	その他	特に行って いない	無回答
文化活動	13	12	55	1	18	17	38
スポーツ・レクリエーション	12	15	27	12	6	11	5
健康・福祉	0	0	6	0	4	3	5
その他	2	0	3	1	1	1	7
無記入	1	0	4	0	1	0	0
	28	27	95	14	※30	43	55

※その他の内容

文化活動	・町文化祭で勧誘（4団体／将棋／鎌倉彫／俳句） ・公民館まつり（3団体・華道／絵手紙／絵画） ・展示会等の見学者に募集、案内掲示（2団体・さつき盆栽／絵画） ・合唱祭、公民館まつり等、チラシでの呼びかけ[合唱] ・1年に一度チラシ作成[舞踊] ・演奏プログラムには常に募集、見学の告知[合唱] ・昨年末講習会を実施[華道] ・練習体験をしてもらい入会勧誘[書道] ・練習日の見学[オカリナ] ・北部公民館掲示板にて[カラオケ] ・倉見地域で回覧[祭ばやし] ・子ども会を中心に[祭ばやし]
スポーツ・ レクリエーション	・活動日に見学に来てほしい[健康体操] ・ロコミ[剣道] ・友達を誘う[ソフトバレー] ・町レクリエーション協会に所属、町レクリエーションフェスティバルに参加、PR[ターゲットバードゴルフ] ・町レクリエーション協会との協力、各自治会による勧誘[ゲートボール] ・過去に数回ポスター掲示を行ったが反応がないので今は何もやっていない[社交ダンス]
健康・福祉	・学校文化祭で父兄へ呼びかけ、福祉ふれあい祭[ボランティア] ・寒川町ボランティア連絡協議会広報紙や茅ヶ崎市民活動ガイドブックなどへの掲載を通じて[ボランティア] ・年2回、男の料理教室を開催し、その時に勧誘している[ボランティア] ・フェスティバルに参加して手作り作品と会のメッセージを同封して来場者へ手渡し[ボランティア]
その他	・回覧[子ども会]
無記入	・20名くらい欲しいが、練習の場が狭いため、大きい場所がほしい[無記入]

⑥団体活動経費（平成23年度）

収支については無回答の団体が114団体（53%）と約半数となっています。最も多い回答が10万円台、次いで5万円未満、20万円台となっています。50万円を超える団体については会員数が19人以上の団体となっています。

◆平成23年度団体活動費

収入			支出		
なし	7	3%	なし	7	3%
5万円未満	18	8%	5万円未満	18	8%
5万円以上～10万円未満	12	6%	5万円以上～10万円未満	10	5%
10万円台	22	10%	10万円台	26	12%
20万円台	16	7%	20万円台	15	7%
30万円台	4	2%	30万円台	1	1%
40万円台	8	4%	40万円台	7	3%
50万円台	15	7%	50万円台	16	7%
無回答等	114	53%	無回答等	116	54%
計	216		計	216	

（3）活動、課題などについて

①団体の活動方法

指導者を置き、定期的に活動している団体が最も多く、次いで指導者はなく、会員相互の自己研鑽により定期的に集合し、活動している団体となっております。また、複数回答ではありますが、発表会や展示会などの成果発表を目的としている団体（12団体）や、外部からの要請があれば集合し活動している団体（27団体）も全体の15%程度あり、地域での成果発表や活動を目的とする団体活動が行われています。

◆団体の活動方法（複数回答あり）

	指導者を置き、定期的に活動している	指導者はなく、会員相互の自己研鑽により定期的に集合し活動している	発表会、展示会の成果発表会、他は会員の自主活動で定期的に集合して活動していない	外部からの要請があれば、その都度集合し、活動している	その他	無回答
文化活動	81	20	11	17	4	26
スポーツ・レクリエーション	35	12	1	2	2	1
健康・福祉	2	7	0	7	4	3
その他	3	5	0	1	1	5
無記入	2	1	0	0	0	1
	123	45	12	27	※11	36

※その他の内容

文化活動	・ 会員有志で水墨画展に行く[水墨画] ・ 指導者は置いているが、活動は不定期[はり絵] ・ 町文化祭の時、手伝うこともある。[茶道] ・ 老人ホームボランティア、ハーモニカ演奏[ハーモニカ]
スポーツ・レクリエーション	・ 外部団体との競技大会に年20会程度参加し、親善と技術高揚に努めている。[グラウンドゴルフ] ・ レクリエーションフェスティバル参加、寒川東中学校での中学生との交流会参加[ターゲットゴルフ]
健康・福祉	・ 県ライトセンター勉強会に参加[ボランティア] ・ 手芸教室で献血者へのみやげにしている。バザーに向けて作り、活動資金にしている。[ボランティア] ・ 開催都度指導者を設定し、年4回を基に活動[調理] ・ 月、第一火曜日集合し、情報交換している。（定例会）[ボランティア]
その他	・ 年間行事を決め、希望者が参加する。[子ども会]

②活動する上での課題、悩みなど

68団体から自由記入をいただき、主なものは活動場所の確保や施設の設備についての意見、会員減少、若い会員の不足、子ども会員の不足、役員のなり手不足、高齢化に伴う活動場所への移動方法などの課題があげられています。

また、とくに課題がないと記入した団体が13団体、無回答の団体が134団体を合計すると、147団体（68%）は活動上の課題はあげられていません。

◆活動する上での課題、悩み(自由記入)

文化活動	【会員の減少】 ・会員減少（3団体） ・会員が減少傾向にあり、新規加入会員の獲得が課題。（現在会員11名→15名以上が目標） ・会員不足 ・会員の方が歳を取っている方が多いので、若い方が入って下さる様な会にしたい。 ・会員の高齢化、会員の減少 ・高齢者が多く、事務処理などをする人が少ない ・メンバーの年代層が高いので次世代の育成が必要かと思いますが、なかなか人材が集まらない。 ・若年層の会員が少ないこと ・若手新規会員なし ・日本民謡を後世に残したく思いまして、若い人に入ってもらうことを望んでいます。 ・子供の減少 ・塾に通う子供達の増大と中学生の部活による参加者の減少。 ・中高生になると部活動に取られる ・幼児、小学生、中学生の入会がない ・男性会員がなかなか増えないので、なるべく増やしたい ・男性会員にぜひ入会して欲しい ・練習時間帯もあり人数が少ないこと ・10人程度の少人数で楽しく活動しているが、役員にはなりたくない会員が多く、役員を務めるには一苦労する。特に他に問題はありません。 ・現在会員募集していないが、将来増やしボランティア活動をしたいと思っています。 ・ボランティア活動をする際の人手不足 ・次のコンサート（25年度に予定）までに、1人でも多くの方に入会していただきたい。 【活動場所の確保】 ・活動場所（会場）がよほどの事が無い限り、一定であることを望みます。ホール（ステージ）のみ練習時使用の際は減額して頂けると有難いです。 ・南部公民館は他の公民館に比べて、活動団体が多く、希望の練習時間が取りにくい。 ・公民館取り壊しの為活動場所の確保。活動が継続できるか心配です。 ・ピアノのある部屋が毎回取れない。 ・他の会と利用日がぶつかること 【施設の改善】 ・公民館を新しく作って欲しい。音響の良い部屋で練習をしたい。 ・公民館に、利用者の会で棚（ロッカー）があると嬉しいです。 ・町民センターの和室は畳の敷合わせが、茶道と異なるので、機会があれば直していただきたい。 【活動場所の資金の確保】 ・用具の保管と資金（太鼓などの張替、修理代の確保） 【活動内容の課題】 ・講師とのトラブルを抱えている。 【交通手段の確保】 ・集合する為の交通手段に困る会員がいて、車のある人が送っている。
------	--

	【特になし】 ・特になし（9団体） ・無記入（93団体）
スポーツ・レクリエーション	【会員の減少】 ・会員数が少ない ・会員数減少で会費の値上げが懸念 ・会員の増加を願っている。会員は凡て高齢者であり年々高齢で退会していく者が増えるので、加入促進を図っているが、増減差し引きで増員とはならず、会運営費に大きな不安がある。 ・これ以上人数が少なくなれば良いと思っています ・新規会員がだんだんと高齢化が進み、長い目で見ると会員数が少なくなり会が維持できなくなる。 【活動場所の確保】 ・寒川総合体育館（武道場床）で毎週日曜日に、剣道稽古会を行っておりますが、体育館の予約が毎週取れないこと。 ・3ヶ月先の活動日の会場予約は、毎月1日の朝9時に公民館に出かけて手続きすることになっている。会員もそれぞれ都合が有り、決まった日時に出向くのは負担に感じている。出来るだけ早くネットで予約や変更手続きが出来るよう改善していただきたい。 ・週2回くらい会場を利用したい。 ・レッスン会場の確保 【施設の改善】 ・3月の震災以降節電のため照明が暗くて見づらい。 ・踊りなので鏡が出来たら欲しい。駐車場に車が混んでいて止められないことがある。 ・青少年広場を利用していますが、夏期の雑草の刈り取り回数を増やして欲しい。現在、町で年間2～3回実施してくれてますが、雑草の生長に追いつかず、会員で補っています。町の実施回数を増やして欲しい。 【活動内容の課題】 ・指導者不足 ・団員の確保、指導者資質向上と確保 ・①団体競技のため口害（口うるさい）あり、仲間割れあり。②球技であるのにミスを許さない雰囲気あり。③笑いが無い。どうしたら楽しくやれるのか悩みです。 【交通手段の確保】 ・今まで中央公民館で行っていたが、北部に移動し遠くなって困っている。 【特になし】 ・特には無し。会員さん同士が協力し合っています。 ・特になし（2団体） ・無記入（30団体）
健康・福祉	【活動内容の課題】 ・活動で使用する人形など小道具類の収納場所が手狭になってきたこと。人形劇を依頼された場合、依頼先の希望日に応えられるよう会員のスケジュール調整をすること。 ・以前までひとり暮らしの高齢者の方へ、暑中見舞いや年賀状を送る活動をしていましたが、社協による名簿の貸し出しが不可能になったため、園としての活動が出来ずに困っています。 ・今まで一人暮らしのお年寄りの方へお便り（暑中見舞い・年賀状）を活動の主としてきました。個人情報関係でそれができなくなり、今後の活動について何ができるのかいろいろ検討しています。 ・活動をしたくても、保育の中での空いた時間を使うため思うように時間が取れません。各自が上手く時間を使いながら出来るお手伝いがないか思案しています。（今年度は福祉フェスティバルのお手伝いをさせていただきました。） ・手話の指導方法を工夫する。手話の技術をなかなか身に付けられない。 ・他の老人ホームより、運動会、盆踊り等々頼まれるが人数を確保するのに難しい。 ・町のお力をお借りし、県ライトセンター等より講師をお招きし、点字講習を行い、会員募集。会員育成の向上を望んでいます。 ・和、洋、中華と様々取り組みたいが、身近に見当たらない。出来れば町役場のしかるべ

	き部署から紹介を受けられたら助かります。 【交通手段の確保】 ・移動する場合の手段（現在個人の車を使用） ・施設が遠いため、会員の高齢化に伴い交通面が悩みである 【役員のなり手不足】 ・会員の高齢化に向けて若い人の加入を望んでいます。役員のなり手がなく、同じ人が何年も続けて受けているのが現状です。 【特になし】 ・課題、悩みは現状ありません。 ・無記入（3団体）
その他	【役員のなり手不足】 ・支部が少なくなり、皆高齢になり、理事をやってくださる方が少なくなりました。もっと会員数を増やしたいです。 ・順番制で役員（指導者）をしているが、子ども1人につき、1回役員なので、足りなくなってきた。 ・本部役員や、各委員会の委員を決めるのに苦労している ・毎年役員が決まらない ・役員のなり手があまりいない。小学校のPTAの為、活動が昼間が多く、サラリーマンには不向き。 【活動内容の課題】 ・活動内容がなかなか伝わらないため会員が増えない。 ・サロン活動は、子育てが一番大変で大事な0、1、2歳児のお母さん達にほっとする場であったり、学習の場であって欲しいと開催しているが、地域になかなか広がっていない。 ・子ども会の支援を仕事としているが、子ども会の活動が大変になってきている。お金もだが、時間も減っているのが現状。子ども達も用事（塾や習い事）が多く、参加が少ない。 【活動場所の確保】 ・会議室の確保 ・青少年会館の様な会場が欲しい。 【交通手段の確保】 ・高齢化に伴う”足”の便（自分1人で行動出来なくなっている）と健康問題 【会員の減少】 ・地域の子どもの数が少ない上に、習い事等で加入数が減少している 【特になし】 ・無記入（4団体）
無記入	・無記入（4団体）

③活動する上での目標、取り組みたいこと

58団体（26％）から自由記入をいただき、様々な目標がありますが、主なものは団体活動の質的向上、会員相互の和、地域に活動成果を広めていきたいことなどがあげられております。その他の団体はとくになし、無回答となっています。

◆活動する上での目標、取り組みたいこと（自由記入）

文化活動	【活動の充実・質的向上】 ・お稽古事の向上に取り組んでいる。 ・会員が楽しく学べる様に努力したいので、行政からも指導をお願いしたい。 ・声を出すことは健康に良いので、のびのびとやっている。元気を出そうと心掛けている。 ・混声の質の向上を目指す。町内の人に団体の存在をわかってもらいたいため、それに向けて努力する。なるべく多くのコンサートを開催したい。 ・寒彩会展及び各々、中央、神奈川等、他の展覧会が出品している。 ・七宝展を見に行く、多くの作品を見に勉強しに行く。 ・尺八民謡の普及啓発
------	---

	・楽しく踊るのが目的の民踊ですので年齢も関係なく楽しく行きましょう。男の方もお待ち致します。 ・中国語日常会話の習得、簡単な中国語文章の読解 ・手書きのよさを広めたい。 ・夏休み、冬休みを利用して、子供対象に体験をボランティアでしたい。(時間の許す限りボランティア希望します) ・文化祭など出展の機会があったら、大いに参加し上達を目指します。 ・もう少し大きな団体となり、大曲も歌いたい。 ・幼児から扇を持って教えたいと思っています。立ち振る舞いも優雅になり、着物にも興味を持って下さると思っています。 ・若い年代の方(子供達含)にハーモニカをもっと親しんで頂きたい。協力は惜しみません。 ・わらべ歌や童謡、唱歌を愛し、歌う人達の集まりを通して次世代に歌い継いで行く事。 【地域に活動を広げていきたい】 ・「いつでも、どこでも、だれでも！楽しく、元気に、美しく！」歌えたら良いなあ。みんな仲良く。出来れば寒川町全部を歌声で包み込みたい。0才から、おじいちゃん、おばあちゃんまで、楽しんでいただける合唱団を目指します。 ・一之宮の伝統文化を後世に残す ・機会を見つけてボランティア活動にも取り組む。(寒川町から補助金の交付を受けており、その御礼の意味も含めて) ・公民館まつり、その他合唱祭への参加、各ホーム施設への慰問等を通じ、聞く人の心に響く様な歌を唄えるように頑張っており、合唱を通じて、町の文化的教養の向上に貢献できるよう努めています。 ・昔からの地域芸能文化を後世に残していきたい。子供達の男親の参加を望む。 【会員相互の和】 ・会員の和、楽しいサークル ・サークルの皆が仲良く練習して、よりよい音楽（ハーモニー）を作ること。 ・話し合いで解決していきたい。 【会員を増やしたい】 ・新しい会員が欲しいです。 ・会員の高齢化に伴い、将来が不安です。若い方に気軽に入会していただく方法を模索中です。 【特になし】 ・特になし（5団体） ・無記入（103団体）
スポーツ・レクリエーション	【活動の充実・質的向上】 ・スポーツ好きの子ども達を増やし、生涯スポーツを心がけると共に、競技性を追求できる人材を育てたい。 ・①GBは本来楽しい競技であることを知ってもらいたい。②主婦も参加も増やしたい。 ・競技会で練習の結果を出したい ・健康・体力の維持、無理のないよう長く続けていきましょう！！という思いで取り組んでいます。 ・昇段審査に向けての稽古、特に基本中心、剣道形等行っております。 ・出来るだけ長く活動が続けること ・ボールがソフトなのでだれでも出来るので友達を誘いたいと思っています 【会員相互の和】 ・活動しながら皆が笑い、おしゃべり、情報が得られて楽しい一日が送れることに取り組んでいますので、技術的なことも必要ですが何しろ楽しくをモットーにしていきたい。 ・競技会参加と健康維持、会員間の交流の両輪でうまくやっていきたい。 ・高齢者が多くなり、元気で仲良く続けていきたい。 ・皆仲良く

	・若い人達の入会と活気あるサークルでありたいと思う。又、長い間続けられればと思います。 【地域に活動を広げていきたい】 ・地域の行事に積極的に参加したいのですがなかなか情報が届いてきません。 ・年に1～2回はボランティアで踊る。目標は年1回の公民館祭りでの発表。 ・平成9年に設立した町内初のグラウンドゴルフ団体で、設立以来毎年町民対象の講習会開催や東中学校との交流等で普及発展に努めてきた。昨今では、このスポーツの愛好者が増え大変喜ばしく、今後とも生涯スポーツとして生涯学習に貢献していきたいと願っている。 【特になし】 ・無記入（34団体）
健康・福祉	【活動の充実・質的向上】 ・自分たちにできることを無理なく続けていく事が目標だと思っています。 ・手話通訳者を増やす。 ・独居老人に対しての支援等 ・身近で必須と感じる物の点訳に取り組んでみたい。1. レストランメニュー、2. 音楽会などのプログラム e t c... 【地域に活動を広げていきたい】 ・今年で会が発足して30年になりますが、これからも地道に地域で食育活動を続けていきたいと思っています。 【会員相互の和】 ・男性独自で調理できる技能を習得することを目指しているが、それ以上に会を中心にした会員相互のコミュニケーション作りも一つの目標で、花見、暑気払い、紅葉狩り、忘年会（新年会）を開催。しかし、企画が大変手間がかかるので、一工夫必要かと思案中。 【特になし】 ・特になし ・今まで通りの活動で良いと思います。 ・施設におまかせなので特にない ・無記入（6団体）
その他	【活動の充実・質的向上】 ・自律的な社会教育が普及することを目指している。リーダーシップや行動科学の理解を深めたい。（講演や講義すること可） ・子育て支援センターの休日を利用してサロン活動を開催したい。 ・子ども達のコミュニケーションの高い活動の支援や体験学習への参加者を増やしていきたい。 ・児童が安心して勉強、運動、遊ぶことの出来る環境づくり ・全学年が楽しめるイベント（内容）にしたい。 【会員相互の和】 ・PTA、本来の目的を先生方・保護者、そして、地域の方々と共に理解し合うこと。 ・会員の皆が健康で、学習活動に励み楽しく遊ぶこと。会員同志で協力し、自己の向上をめざす。 【地域に活動を広げていきたい】 ・地域での人とのつながりを大切に、たとえ少なくとも、参加を希望する子ども達が楽しめる活動にしたいと思っています。 【特になし】 ・無記入（6団体）
無記入	【会員を増やしたい】 ・若い人から年配の人まで仲良く集えると良い 【特になし】 ・無記入（3団体）

④行政にどのような支援を希望しますか

複数回答となっていますが、「活動場所の確保」が64団体と最も多く、次いで「行政による活動情報のPR」が57団体となっています。補助金の交付を希望する団体は約1割であり、そのうち半分は理由について無回答でしたが、ボランティア活動を推進するための活動費に必要としていることや、設備の購入や維持管理などが高額となる団体について、補助金の交付を必要とする意見がいくつも見受けられました。

また無回答が58団体あり、とくに必要としていない団体とあわせて、約半数は行政からの支援を必要とせず、自主的、自立的な活動を行っていることが考えられます。

◆行政に希望する支援方法（複数回答あり）

	行政による活動情報のPR	町内外団体の活動情報の提供	イベントをする際のアドバイス	新規会員の獲得に向けた支援	活動場所の確保	補助金の交付 ※1	その他 ※2	特に必要としていない	無回答
文化活動	27	10	5	19	33	7	7	27	48
スポ・レク	22	13	3	12	24	3	4	9	5
健康・福祉	2	0	2	4	2	4	0	5	3
その他	5	2	2	3	3	6	2	3	0
無記入	1	1	1	1	2	1	0	2	2
	57	26	13	39	64	21	13	46	58

※1：補助金交付の理由

文化活動	・ボランティア等の依頼が多く、違った曲の練習が必要なので、編曲料の負担が大きい。 ・個人負担額の軽減に資するため ・太鼓の維持が高額なため ・太鼓張り替えなどの資金積立金として ・無回答(3団体)
スポーツ・レクリエーション	・会運営には無くてはならない助成金で感謝している。 ・協会の活動は全てボランティア活動であり、会費、補助金、寄付金等で運営されている。 ・現在、レクリエーション協会経由で受けている。
健康・福祉	・点字用機器（用紙、用具、資料）の購入費用 ・現在、町社協より助成金を受けており、活動資金の一部として大切に使っている。 ・現在社協より補助金を受けている ・無回答（1団体）
その他	・少しでも多くの方を支援したいと活動を増やすほど、運営が苦しくなる。当法人の運営はバザー売上と代表者の自己資金である。補助金がもらえれば、公的活動がさらに出来るようになる。 ・無回答（5団体）
無記入	・無回答（1団体）

※2：その他の理由

文化活動	・ホール使用料をもう少し安くしてほしい ・特にインターネットで情報公開して欲しい。 ・印刷機が欲しい ・間借りでなく、ちゃんとした公民館が欲しい。 ・公民館欲しい ・場所取りを簡単にしたい。 ・公民館の使用料金を電気代位徴収してもいいのではないかな。
スポーツ・レクリエーション	・会員を増やすアドバイス ・活動場所の青少年広場の維持、特に雑草対策。ベンチ補修。 ・会場（公園）を提供して欲しい。 ・新規の卓球台購入と照明の交換。
その他	・児童の学校生活における環境整備 ・交通の便が大変悪いので、バスの運行を当初の様に復帰してほしい。

⑤国や県単位での連盟、協会などの団体に所属していますか。

国単位の連盟、協会などに所属している団体は19団体（9%）、県単位での所属は27団体（12%）となっています。

	国単位			県単位		
	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
文化活動	5	85	44	6	84	44
スポーツ・レクリエーション	10	25	14	13	19	17
健康・福祉	0	13	2	1	12	2
その他	4	4	6	7	3	4
無記入	0	2	2	0	2	2
小計	19(9%)	129(60%)	68(32%)	27(12%)	120(56%)	69(32%)
合計	216			216		

⑥他団体と協力して事業などを行っていますか。

町内の団体と協力して事業を行っている団体は80団体（37%）、町外の団体と協力している団体は23団体（11%）となっています。

	町内			町外		
	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
文化活動	45	54	35	14	69	51
スポーツ・レクリエーション	25	18	6	9	21	19
健康・福祉	5	8	2	0	12	3
その他	4	7	3	0	8	6
無記入	1	1	2	0	1	3
小計	80(37%)	88(41%)	48(22%)	23(11%)	111(51%)	82(38%)
合計	216			216		

2. 社会教育関係団体の活動調査アンケート（連盟・協会用）調査結果

（1）基本情報について

①回答団体数：26団体

文化団体11団体とスポーツ・レクリエーション団体15団体から回答をいただきました。団体の規模は100人未満が42%、500人未満が34%となっており、500人未満の団体が約8割となっています。また、連盟、協会への加盟団体数が10団体未満が54%となっています。

会費は年額としている団体が7割を超えており、年額1000～5000円が多くなっています。またその他費用については有りとした全団体が大会、発表会などの参加費としています。

◆団体の規模（人数）

			文化	スポ・レク
100人未満	11	42%	6	5
100～500人未満	9	34%	4	5
500～1,000人未満	3	12%		3
1,000人以上	3	12%	1	2
無回答	0			
計	26		11	15

◆団体の規模（団体数）

			文化	スポ・レク
10団体未満	14	54%	6	7
10～25団体未満	4	15%	3	2
25～50団体未満	2	8%	1	1
50団体以上	1	4%		1
無回答	5	19%	1	4
	26		11	15

◆会費の有無と金額

	月額		年額		無		無回答		計	
	文化	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸ	文化	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸ	文化	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸ	文化	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸ	月	年
1000円未満										
1000円台		1	5						1	5
2000円台			2							2
3000円台			1	4						5
4000円台		1		1					1	1
5000円台			2	2						4
6000円以上			1	2						3
無回答								1		1
無料						3				3
計		2	11	9		3		1		26

◆その他費用

	有		無		無回答		計
	文化	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸ	文化	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸ	文化	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸ	
2500円未満	4	2					6
2500～5000円未満							0
5000～7500円未満							0
7500～10000円未満		1					1
10000円以上		3					3
具体的金額無記入	2						2
無回答	1						1
			4	7		2	13
計		13		11		2	26

※内容については、全ての団体が大会等行事参加費と回答

(2) 活動内容について

①団体の活動方法

複数回答有りとなっていますが、加盟団体間の連絡調整（定期的な会合の開催など）のためが17団体、定期的な発表会、大会開催などの事業実施が19団体となっており、主に大きく2つの役割があげられています。

◆団体の活動方法（複数回答あり）

	文化団体	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾚｰｼｮﾝ	計
加盟団体間の連絡調整（定期的な会合の開催など）	8	9	17
定期的な発表会、大会開催などの事業実施	7	12	19
加盟団体への指導、助言	2	6	8
団体のチラシ、ポスターの作成、配布	2	2	4
インターネットによる団体の情報提供	1	3	4
町役場など公的な機関への情報提供	4	9	13
その他※	2	2	4
無回答		2	2

※その他の理由

文化団体	・町産業まつりに参加[祭ばやし] ・役員会、研修、新春茶会の実施、文化祭等に参加[茶道]
ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾚｰｼｮﾝ団体	・県スポーツ少年団との情報交換等[スポーツ少年団] ・町主催の弓道教室に参加[弓道]

②国や県単位での連盟、協会などの団体への所属について

国単位の連盟等に所属している団体が6団体（23%）、県単位は14団体（54%）と約半数が所属しています。

◆国単位

	文化	スポ・レク	計	
はい	0	6	6	23%
いいえ	11	3	14	46%
無回答	0	6	6	31%
計	11	15	26	

◆県単位

	文化	スポ・レク	計	
はい	0	14	14	54%
いいえ	11	0	11	38%
無回答	0	1	1	8%
計	11	15	26	

③他団体と協力した事業実施について

町内の団体と協力している団体が11団体（42%）、町外団体と協力している団体が13団体（50%）と半数の団体が他団体と協力した事業を実施しています。

◆町内

	文化	スポ・レク	計	
はい	2	9	11	42%
いいえ	9	3	12	46%
無回答	0	3	3	12%
計	11	15	26	

◆町外

	文化	スポ・レク	計	
はい	2	10	12	46%
いいえ	9	1	10	39%
無回答	0	4	4	15%
計	11	15	26	

（３）加盟団体について

①加盟団体の増減傾向

自己認識や平成20年度以降の会員の推移から、現状維持かやや減少傾向であることが見受けられます。

◆加盟団体の増減傾向（自己認識）

	文化団体	スポーツ・レクリエーション	計	
大きく増加している	0	0	0	0%
やや増加している	1	1	2	8%
大きく減少している	3	2	5	19%
やや減少している	3	6	9	35%
増減はしていない	3	4	7	27%
無回答	1	2	3	11%
計	11	15	26	

◆平成20年度以降の団体数

	文化団体	スポーツ・レクリエーション	計
増加（人数記載なし）	0	0	0
減少（人数記載なし）	2	0	2
変化なし（人数記載なし）	4	0	4
増加（人数記載あり）	2	1	3
減少（人数記載あり）	3	9	12
変化なし（人数記載あり）	0	1	1
無回答	0	4	4
計	11	15	26

②新規団体の募集について

募集をしている団体が18団体(69%)となっており、口コミによる方法が主なものとなっています。また、インターネットのホームページを開設して募集を行っている団体がありました。

◆新規団体の募集

	文化団体	スポーツ・レクリエーション	計	
募集している ※1	7	11	18	69%
募集していない ※2	2	1	3	12%
無回答	2	3	5	19%
計	11	15	26	

	※1：募集している方法	※2：募集しない理由
文化団体	・ 口コミ（3団体・華道／茶道／民謡） ・ イベント時や個人的な口コミなどの呼びかけ[音楽] ・ 寒川芸能会会長か事務担当者に申し込む[舞踊] ・ 直接代表者に面会して加入を促す[書道] ・ 同種、同分野の合併促進。既存団体の充実、強化の推進。[文化連盟] ・ 無記入（1団体・詩吟）	・ なし[手工芸]
スポーツ・レクリエーション団体	・ 個別対応[陸上] ・ 弓道教室開催に協力[弓道] ・ 年1度の広報掲載（体験教室）、ポスター[空手] ・ 町広報[ソフトボール] ・ 各種目別競技団体において、国・県単位の広報[スポーツ少年団] ・ 寒川町ソフトテニスコートにて手続き[ソフトテニス] ・ 団体のチラシ、ポスター作成、会員による勧誘[バレーボール] ・ 説明会の開催、毎月発行の教室案内、ホームページ[総合スポーツ] ・ 口頭による[テニス] ・ インターネットHP[野球] ・ 無回答（1団体・バスケットボール）	・ 団体をつくろうとする人がいない。[レクリエーション]

（４）活動にかかる経費

①平成23年度団体活動経費

収支とも60万円以上が7団体（27%）と10万円台が6団体（23%）となっています。

◆平成23年度団体活動経費

収 入	文化	スポーツ・レク	
10万円未満	1	0	4%
10万円台	5	1	23%
20万円台	2	2	15%
30万円台	1	1	8%
40万円台	0	2	8%
50万円台	2	0	8%
60万円以上	0	7	27%
無回答	0	2	8%
計	11	15	

支 出	文化	スポーツ・レク	
10万円未満	1	0	4%
10万円台	5	1	23%
20万円台	2	2	15%
30万円台	1	1	8%
40万円台	0	2	8%
50万円台	2	0	8%
60万円以上	0	7	27%
無回答	0	2	8%
計	11	15	

(5) 活動における課題等について

①活動する上での課題、悩みについて

16団体から自由記入をいただき、主に役員不足、会員の少子高齢化、活動費不足があげられています。

◆活動する上での課題、悩み(自由記入)

文化 団体	・会員の高齢化と有資格者の減少。 ・加盟団体を増やすのが困難なので活動費用の捻出が大変。 ・文化祭や外の発表会に参加する時に会員の方は役員にまかせ過ぎる。 ・少子、高齢社会に伴う会員の減少、若年層の加入が各傘下団体共に皆無の状況、活力の減退に苦慮している。 ・役員になりたがらない。町民センターホール受付に知恵欲しい。控室等で苦労している。少子高齢化。 ・次代の役員の担い手不足、会を担う作家の減少（高齢化）、平塚市に比べ、見劣りする行政対応。 ・無回答（5団体）
スポーツ ・レクリエーション 団体	・チーム数の減少。 ・会場の確保、指導者の確保、活動費の不足。 ・会場利用費に会費のほとんどが支出されるので、会員の負担を軽減したい。 ・各団体が高齢化しており、減少する一方です。若い人の入部が少ない。 ・活動対象が中学生、高校生と小学生で学生はそれぞれ中体連、高体連に加盟している為、会員登録ができず、会費収入のはびない。大会参加のみ。 ・企業が人を採用しないためチーム数減、家庭婦人の高齢化のためチーム数減。 ・現状町営テニスコートがハードコートであり、高齢者には体を痛めることとなるので、高齢者に優しいサーフェスへの改善要求をしているが、未だに実現されない。 ・最近の父兄達は習い事を子供にさせるのも、指導者の資格などの事を考えず、会費の安いクラブに入会させる傾向を感じている。 ・中学生時代ソフトテニス部で練習された方は、卒業後「寒川町ソフトテニス協会」に加入手続きして頂き、生涯スポーツにして頂きたい。高校生以上学生は、年会費1000円です。 ・役員、審判のなり手が減ってきているので、一人一人の負担が増えている。活動する場所の田端スポーツ公園にソフトボール協会の用具を置くための物置が設置できないこと。費用的に運営も厳しい。 ・無回答（5団体）

②活動する上での目標、取り組みたいこと

14団体から自由記入をいただき、主に会員、団体数の拡大、会員相互の親睦から地域の和をつなげることがあげられています。

◆活動する上での目標、取り組みたいこと

文化 団体	・会員相互の親睦につくる。文化の衰退は町の衰退になるのではない。民謡の伝承。[民謡] ・学社連携と融合に努力し、町内小中学校の地域教育力に支援できる体制づくりに取り組み、早期実現を目指している。 ・若い人の参加が欲しいですが、一つのものを長いことすることが難しいようです。 ・町内の音楽愛好家がみんな音楽協会に加盟し、いろんな部が協力し合い、ジョイントコンサートなど出来るような会にしたい。 ・発表会等の時、PRをもっとし、多くの人が会場に見に来てくれるように努力したい。 ・無回答（6団体）
スポーツ ・レクリエーション 団体	・1. 加入団体を増やす。2. 指導者の資質向上を図る。 ・会員数の拡大。 ・寒川町ソフトテニス協会として利用できるホームページが欲しい。 ・空手道の技術の向上はもちろんですが、心身の錬磨を通じ、体を鍛え、人格を磨き、心身ともに立派な青少年の育成を目的としています。また、礼儀作法を守り、規律を保つとともに、静粛・清潔・安全が維持できるようにしていきたいです。 ・高齢者に優しいサーフェスによる、高齢者大会の実施を希望。

	・子ども～大人、そして高齢者までスポーツを楽しむ人を増やし、健康な生活を目指す。幼児、小学生には自分にあったスポーツを探す手助け。 ・小中学生にはバレーボールを通しスポーツの楽しさを教えていきたい。仲間意識を高め、地域の輪が広がれば。 ・青少年の体力アップ、町民の活動場所確保、イベント開催（一般向け）、スポーツを通して明るい町づくり。 ・町にソフトボールの振興、ソフトボールの人口を増やしたい。少年・少女の会員を増やす運動。運営委員の増加。 ・無回答（6団体）
--	---

③行政からの支援希望について

複数回答有りですが、多い回答は行政による活動情報のPRが14団体、補助金の交付が14団体、活動場所の確保が12団体となっています。補助金交付を希望する理由については、会員減少による活動費の負担増などがあげられています。また、その他の理由については、団体活動支援のための施設や機器整備があげられています。

◆行政からの支援希望（複数回答あり）

	文化団体	スポーツ・レクリエーション	計
行政による活動情報のPR	4	10	14
町内外団体の活動情報の提供	3	1	4
イベントをする際のアドバイス	2	2	4
新規団体の獲得に向けた支援	3	2	5
活動場所の確保	5	7	12
補助金の交付 ※1	7	7	14
その他 ※2	3	3	6
特に必要としていない	1	0	1
無回答	1	3	4

	※1：補助金交付の理由	※2：その他の理由
文化団体	・文化祭等の事業 ・文化祭呈茶席の費用が足りません。 ・だんだん少なくなるのが困ります。 ・大変ありがたいことだが、支援がないと活動できない団体へ是非。 ・さらに上積みしてほしい。 ・無記入（1団体）	・町の文化高揚の考え方を話し合いたい。 ・補助金は一定期間で減額しても、町の事業として促進すべき事業（文化祭委託金など）は減額すべきではない。各種団体活動支援のための印刷機の設置と関連機器、設備を是非（例：茅ヶ崎市の支援センターのような） ・町主催事業費の確保を優先して欲しい。委託事業で団体支出の減少を図ってもらいたい。文化事業の活力が減退しないよう特に考慮されたい。
スポーツ・レクリエーション団体	・会員の会費をあまりあげるの厳しい。役員の負担があがる。 ・大会参加者の減少による収支赤字のため。 ・中学生から会費が取りにくい。 ・無回答（2団体）	・施設利用について負担の軽減。 ・町営テニスコートの改修。 ・町民には総合体育館の補助。

資料

◆社会教育委員名簿

役 職	推薦団体等	平成24年度委員名	平成25年度委員名
	寒川町小・中学校長会（小学校長）	金 子 吉 則	山 本 博 司
	寒川町小・中学校長会（中学校長）	堀 米 信 彦	堀 米 信 彦
	寒川町文化連盟	高 橋 多賀江	高 橋 多賀江
	寒川町婦人会	平 本 正 子	平 本 正 子
	寒川町PTA連絡協議会	古 山 真 一	古 山 真 一
副議長	学識経験者（家庭教育関係）	三 澤 米 子	三 澤 米 子
	学識経験者（寒川町議会選出）	柳 下 雅 子	佐 藤 一 夫
議 長	学識経験者（公民館関係）	佐 藤 信	佐 藤 信
	学識経験者（図書館関係）	木 村 紫 野	木 村 紫 野
	公募委員	大 庭 照 人	大 庭 照 人

◆社会教育委員会議討議経過

平成 24 年 度	第1回	平成24年 4月26日(木)	平成24・25年度社会教育委員会議審議事項テーマ 「社会教育関係団体の育成について」提案
	第2回	平成24年 6月28日(木)	生涯学習課、公民館、図書館事業説明
	第3回	平成24年 8月30日(木)	社会教育関係団体の育成について ・団体アンケート項目検討
	調査活動	平成24年9月～11月	団体アンケートの実施・回収
	第4回	平成24年10月25日(木)	社会教育関係団体補助金等の交付についての意見
平成 25 年 度	第5回	平成25年 2月21日(木)	社会教育関係団体の育成について ・アンケート集計結果まとめ
	第1回	平成25年 4月25日(木)	社会教育関係団体の育成について ・アンケート集計結果分析
	第2回	平成25年 6月27日(木)	社会教育関係団体の育成について ・団体育成についての課題分析及び検討
	自主活動	平成25年 7月25日(木)	社会教育関係団体の育成について ・団体育成についての課題分析及び検討
	第3回	平成25年 8月28日(水)	社会教育関係団体の育成について ・報告書（案）の検討
	第4回	平成25年10月30日(水)	社会教育関係団体の育成について ・報告書の承認 社会教育関係団体補助金等の在り方について